

I はじめに

今年度の学校評価を実施し、課題を設定し改善策を講じることで、分校の学校経営の充実を図る。

II 学校評価実施の流れ

- 1 アンケート実施 : 10月10日～28日
- 2 アンケート回収 : 10月28日
- 3 アンケート結果を共有、課題を設定し改善策を講じる。 : 10月28日～
- 4 学校評価検討委員会で評価結果、課題、改善策を集約しまとめる。 :
- 5 学校評議員への報告、学校評議員による評価実施。 : 第2回学校評議員会
- 6 学校内で掲示及びホームページで公開する。 : 今年度内3月

III アンケートの分析

- 1 教職員自己評価及び保護者アンケート・事務現業アンケートの概要
 - ・各学部(高等部)、事務現業用、保護者用、学校関係者(学校評議員)用を実施。
- 2 課題の抽出方法
 - ① ◎ (あてはまる) ○ (ややあてはまる) の合計が80%以上の項目は、肯定評価とする。
 - ② ◎ (あてはまる) ○ (ややあてはまる) の合計が80%未満は、課題を設定し改善策を講じる。
 - ③ 自由記述は、意見と要望に分け、改善策を講じ回答する。
- 3 対象者と回収率
 - ・管理者、教職員、事務現業職員10名が回答
 - ・保護者5名に対し、2名が回答

表1 対象者と回収率

	対 象	対象者数	回収数	回収率
教職員	教頭 教諭	9名	9名	100%
事務現業	事務現業職員	3名	3名	100%
保護者	保護者	5名	2名	40%
学校関係者	学校評議員	4名	3名	75%

4 結果のまとめ

(1)各学部・管理職の結果

質問項目全てにおいて肯定的評価となった。一人一人の生徒の様子を動画で療育園に説明するなど、情報共有を密に行い、生徒一人一人の健康の保持増進、生活経験の広がりに向けた教育活動を行えていることが各項目の結果からも伺える。授業においては、生徒の興味関心を引くような教材が作成され、個別最適な学びとなる指導、支援が行われている。評価項目2「働き方改革に取り組み、業務改善を推進している」において1名の職員が「△どちらでもない」と回答している。さらに追加で行った働き方改革に関する質問では、良い評価が大半であったが、「個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができていない。」、「心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができていない。」において「△あまりあてはまらない」の評価があった。次年度は職員も減になるため、業務の整理を進めていきたい。

(2)事務現業職員の結果

概ね良い評価である。少ない人数で、適切に業務を遂行している。

(3)保護者の結果

提出2名だが、概ね肯定的評価(肯定的)であった。

(4) 学校評議員より

3つの質問項目である①沖縄療育園との情報共有、②学習活動に関すること、③健康安全に関すること全てが肯定的な評価であった。ICT機器を活用した授業のアップデートや教材作成に対する職員の努力を高く評価し、これらを外部(教育センター等)へもアピールしてほしいとの意見が出た。

5 次年度に向けて

次年度は閉校の年度になるため、業務整理をさらに進め、指導内容や授業形態の工夫を図りながら充実した授業が展開されるよう取り組んでいきたい。